資料３

今後のＡＣＰの普及啓発の取組について

【これまでのＡＣＰの取組経過】

令和２年度にＡＣＰワーキンググループを設置し、諫早市の現状と課題を把握し、課題に対する対応策や今後の取組について検討した。

その結果「書き留めるツールの作成」「市民等への普及啓発」「専門職への研修会」が必要であると考えられ、ＡＣＰについての冊子を作成し、市民講演会の開催を予定している。

今後のＡＣＰの取組や普及啓発方法について委員の皆様から意見をいただきたい。

【ＡＣＰに取り組む目的】（令和２年度第１回推進会議資料より抜粋）

高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、本人の意思を尊重し将来の医療や介護を本人の希望にあったかたちに具現化し、本人の意志決定を支援する。